

#編集後記 心に届く声



アヴェニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail avenir4you@gmail.com



大きな声で
ごめんちゃい



6月22日に参議院選挙が公示され選挙戦に突入しました。皆さんも、きっと街のあちこちで選挙カーや街頭演説を耳にされていることと思います。

実は僕も10年以上前、ある候補者の選挙を1度だけ手伝ったことがあります。義理があって引き受けたのですが、候補者の名前を連呼しながら街を練り歩いたり、時には候補者の影武者？みたいな感じで選挙カーの助手席からマイクを握って名前と挨拶をひたすらシャウトしたりしていました。おかげで選挙終盤になると声はガラガラ。でもあの必死さが伝わるしゃがれた声が良かったとベテランのウグイス嬢に言われて嬉しかったことを思い出します。(応援した候補者は無事当選しました)(^o^)/



演説といえば、バラバラだった御家人たちの心をまとめ、京へのぼり朝廷の軍と戦う決意をさせ見事勝利へ導いたという、承久の乱における北条政子の演説が有名です。

「働きたい女性が個性と能力を十分に発揮できる社会」の実現を目的とした女性活躍推進法が、今年の4月に改正され、政府は女性が活躍できる社会づくりを推進していますが、既に鎌倉時代には言わば「最強のシングルマザー」、北条政子がいたんですね。いずれ大河ドラマ「鎌倉殿の13人」でも描かれると思いますが、今から楽しみです。

尼將軍
北条政子

そうだ
京都、
行こう



GOTOトラベル
使えますかね

先日、東京03というコントトリオのラジオ番組でラジオコントを耳にする機会がありました。それが、「**当社の退職者を減らすには？**」というテーマで、つつい引き込まれてしまいました。幹部が頭を抱える会議で、「座敷わらし」ならぬ、古くから会社に居座る守護霊「会社わらし」がそっと助言をしてくれます。それは、**社員のモチベーションを上げるのは社長から社員への演説、心から社員を感動させるスピーチだ**という助言。

そして考えて考え抜いた社長のスピーチが、ラジオを聞いていた僕もこんな社長の下で働きたい・・なんて気持ちにさせられるくらいの話で、社員たちの心を打つというストーリーでした。でも僕の一番の驚きは、コントでこんなテーマを扱うのー！？ということ。(@_@;) 転職サイトがどんどん充実し退職代行サービスなんてある中、人手不足の中小企業にとっては優秀な社員の「流出」はあまねく大きな課題なのだと、改めて思い知らされました。

東京03と
男性ブランコの
コントでした



「**上に立つ者の役目はやる気を引き出すこと、指導することだ。管理することは誰でもできる**」とは、青山学院大学・駅伝部監督の原晋さんの言葉です。

以前、ある企業でCREDO(クレド)カードを作成するお手伝いをした際に「**今まで仕事で感動したこと**」というアンケートをお願いしたのですが、回答の中に「**上司が自分の苦勞を知ってくれていた**」とあったことを思い出します。そんな些細なことが、部下のモチベーションになるのです。

よく
頑張っているね



上に立つ人からのスピーチではないのですが、僕には忘れられないスピーチの記憶があります。それはもう30年近く前、会社員時代に聞いた後輩の役職昇格時のスピーチです。生まれつき耳が聞こえないという障害を背負っていたその後輩は、話す言葉もどうしてもカタコトでした。なので、彼がマイクを握った時、大丈夫かと会場に緊張が走りました。彼は深呼吸をした後、たったひと言だけ、でも声を振り絞ってシャウトしました。



「**みんなのためになりたいです!**」

それは、まさしく彼の心の叫びでした。

その日一番の万雷の拍手は、きっと彼の心にも届いたに違いありません。

今振り返っても
あれ以上、シンプル
で高潔なスピーチ
を僕は知りません

